

【ポスター発表】

研修受講前後の動機づけの実際**— 研修受講者への質問紙調査と研修担当者会議の結果分析 —**

○(福)静岡県社会福祉協議会 曾根 允 (007334)

鈴木 俊文 (静岡県立大学短期大学部・007520)

キーワード：研修効果・動機づけ・研修担当者

1. 研究目的

本研究は、福祉職員の研修受講時の動機づけの実際や望ましい具体的な方法について把握し、研修受講効果の促進、ひいては福祉職員の資質向上に資することを目的とする。

なお、平成29年度の日本社会福祉学会第65回秋季大会では、福祉施設の研修担当者からの意見を基に、「研修効果の促進要因と阻害要因」を抽出し、その結果、促進要因の最多が”目的と課題の明確化”であった旨を報告した。

今回の研究では、前回の研究で研修受講効果の促進要因として抽出した「目標と課題の明確化」をより具体的に明らかにすることを目指し、「研修受講前の動機づけ」として焦点化し研究を行った。

2. 研究の視点および方法

研修受講や人材育成の効果を高めるために、動機づけは必須の要素として先行研究や文献でも既に示されている。しかしながら、筆者の研修事務局としての実践の中では、十分に動機づけがなされないままに、「なんとなく」研修に参加し、受身のままに受講を終える職員が多くいることを実感として認識している。また、福祉施設の研修担当者による動機づけの方法・内容もより明らかにし、波及させていく必要がある。

そこで、研修受講前の動機づけに関して実態を明らかにするために、受講者本人への質問紙調査を行うとともに、研修担当者会議にて各事業所の具体的な取組を抽出した。

(1) 「研修受講効果に関する調査研究」

平成29年11月～平成30年2月に(福)静岡県社会福祉協議会・研修課が主催する研修(22本)の受講者(1,151人)に質問紙を配布し、協力を依頼した。質問紙の内容は、「事業所の様子」「研修受講前の動機づけ」「今日の自身の受講効果」の3つの尺度で構成した計11項目の設問に対し、4段階評価を求めた。結果は、SPSS(22.0)にて統計解析した

(2) 「研修担当者会議」

平成30年3月に静岡県社会福祉協議会等が主催した「研修担当者会議」では、県内の福祉施設の研修担当者(34人)とグループワーク形式で「研修受講前後の動機づけ」について協議した。併せて、質問紙にて「事業所で行っている動機づけ」について、自由記述にて意見を求めた。分析は、質問紙の記述内容をデータとし、関連要因の抽出からこれらを帰納的に分類しコード・カテゴリー化をはかった。

3. 倫理的配慮

日本社会福祉学会の研究倫理指針を遵守している。また、上記2(1)の質問紙にもその旨を明記した。併せて、上記2(2)の会議出席者に対して、質問紙(無記名)への回答内容を人材育成の仕組みづくりに向けた研究に活用する旨を説明し、同意を得られたもののみ活用した。

4. 研究結果

(1)「研修受講効果に関する調査研究」

1,072人から協力を得た。主な結果は下表のとおりである。なお、各項目間の相関係数を算出したところ、12種の項目間で強い相関関係(1%水準)が認められた。しかしながら、全て同一の尺度内でのみの有意差であり、「事業所の様子」「研修受講前の動機づけ」「今日の自身の受講効果」の各尺度間での有意差は認められなかった。

①	自事業所の人材育成が体系化されていると感じているのは、48.6%。
②	回答者の36.6%は、研修前に受講目的を確認していない。
③	回答者の52.5%は、事前に受講後の活用方法を確認していない。
④	回答者の37.1%は、研修受講を自分自身で決めていない。
⑤	受講効果は、4項目とも9割以上が高かったと自己評価した。

(2)「研修担当者会議」

15人から協力を得た。回答内容34項目をカテゴリ化した。結果は下表のとおりである。

①	面談を行う(8)	⑥	上司が受講決定している(2)
②	希望を募る(7)	⑦	アンケートを実施する(2)
③	報告会を設定する(4)	⑧	日程でいける人を選定(1)
④	報告書を求める(4)	⑨	事前申請書を作成する(1)
⑤	委員会で受講決定している(3)	⑩	個別の年間研修計画を作成(1)

5. 考察

研修受講者への質問紙調査の結果、3分の1の受講者が研修受講前後の動機づけがなされていないこと等の実際が明らかとなった。また、研修担当者会議により、その具体的な手法について一部ではあるが明らかにすることが出来た。本研究結果を踏まえ、今後必要な取組として、①研修受講前の動機づけの実施率を向上させていくこと、②動機づけの具体的な手法をより標準化して普及していくことの2点を提示する。一方で課題として、動機づけを行うことの意義のみならず、効果についても実証していく必要があると考える。